

年報 25 号

特集 原生流域への
いざない

- 8 特集巻頭言
- 12 原生流域とは何か
原生流域とは
原生流域の分布
- 15 トマの風の原生流域志向
山行実績の分布
原生流域の概要
- 16 朝日連峰 東大鳥川上流部 / 西大鳥川上
流部 / 金目川上流部
- 22 川内山塊 早出川上流部 / 下田山塊 笠堀上
流部 / 大川上流部 / 砥沢川上流部
- 29 平ヶ岳周辺 只見川大白川上流部 (大白沢)
- 35 南会津 黒谷川上流部 / 白戸川上流部 /
袖沢上流部
- 38 奥利根 利根川上流部 / 小穂口沢上流部 /
奈良沢上流部 / コツナギ沢上流部
- 43 原生流域の「今」
- 45 自分の山を探そう

無雪期の山

- 6 月会山行 只見川蒲生川流域の沢
- 56 真奈川笠ノ沢 / 真奈川水上沢 / 蒲生川大
白沢 / 蒲生川持場沢 / 真奈川水上沢 / 真
奈川笠ノ沢
- 飯豊連峰
- 63 内ノ倉川焼峰沢～赤倉岐沢
- 65 内ノ倉川伊蔵沢～赤倉岐沢
- 越後
- 67 佐梨川桂ノ沢
- 69 水無川デトノオオナデ沢
- 71 三国川平太沢
- 谷川連峰
- 72 湯檜曾川赤倉沢
- 74 湯檜曾川マチガ沢東南稜
- 76 小出俣川センノ沢
- 78 小出俣川右俣本谷大穴沢

- 南会津
- 80 唐倉山南稜・西稜
- 82 只見川宿ノ沢岡沢
- 87 只見川貉沢～大赤沢
- 毛猛山塊
- 90 黒又川持場ノ沢
- 94 黒又川みかぐら沢本流～持場ノ沢
- 北アルプス
- 97 青海川アイサワ谷
- 100 剣岳クライミング
- 中央アルプス
- 103 木曾川柿其川本流、岩倉川
- 南アルプス・上信越
- 106 安倍川黒ん沢
- 108 安倍川関ノ沢芝白沢
- 110 気田川本流～前黒法師山
- 113 関田山地縦走 信越トレイル
- 北海道・東北
- 116 大雪山系沢登り
- 118 浅瀬石川滝ノ股川
- 120 小阿仁川大蓋沢～白子森
- 122 丹生川層雲峡
- 125 摺上川滑谷沢～烏川
- 白山連峰・奥美濃
- 127 犀川二又川
- 131 板取川川浦溪谷
- 南紀
- 134 熊野川赤木川の沢
- 奥久慈・奥鬼怒
- 137 山田川竜神峡
- 138 鬼怒川湯沢
- 那須連峰・男鹿山塊
- 140 阿武隈川本谷
- 142 加藤谷川小玉沢
- 足尾山塊
- 145 松木沢ジャングル 直上ルート
- 奥多摩・奥秩父
- 147 大丹波川曲ヶ谷沢
- 148 滝川本流水晶谷
- 150 大血川西谷石楠花沢右俣～左俣
- 152 乾徳山クライミング

2016 年 12 月 1 日から 2017 年 11 月 30 日までの山行記録を収録。「無雪期の山」は、沢登り、ハイキングとクライミング。「雪の山」は、雪山縦走、雪稜、アイスクライミングと山スキーの記録です。

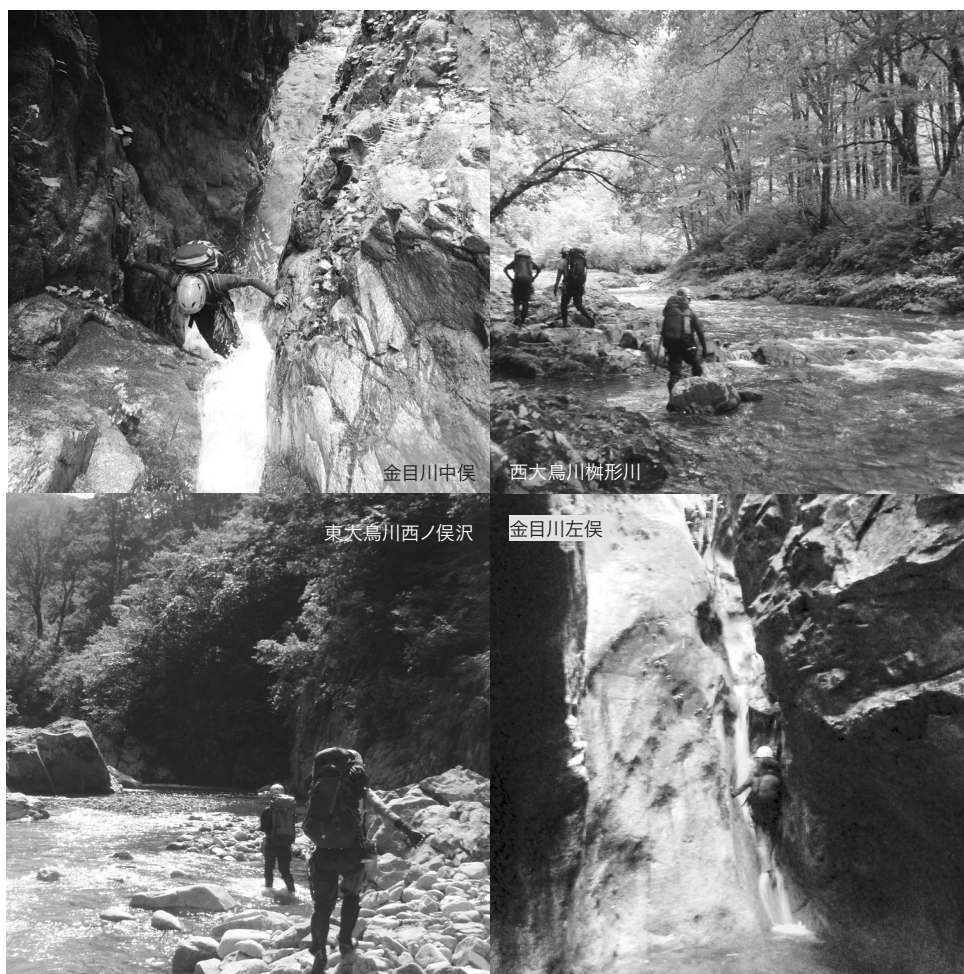
原生流域の概要

トマの風がこれまで足を踏み入れることの多かった原生流域を、北から順に5ヶ所ほどスポットライトを当てて紹介していこう。

朝日連峰 東大鳥川上流部 / 西大鳥川上流部 / 金目川上流部

DATA ① 1,230ha/2,175ha/1,255ha ② 山形県鶴岡市(東大鳥川・西大鳥川) / 山形県小国町(金目川上流部) ③ 磐梯朝日国立公園(東大鳥川上流部のみ) ④ 5回/3回/3回

[凡例]
DATA ①面積 ②所在地
③位置する国立公園など
④山行回数}



山域概要 朝日連峰の主だったピークから西に外れた榊形山から四郎岳へと北に延びる道のない尾根を挟み、東大鳥川と西大鳥川が流れる。タキタロウ伝説で知られる大鳥池も東大鳥川赤川の支流に位置するが、東大鳥川上流部で原生流域として指定されているのは泡

滝ダムより上流の西俣沢以奥の部分である。西大鳥川では西大鳥ダムから延びる林道終点より奥が原生流域に該当する。当会ではこれらの流域の沢、また時には泥又川や猿田川も組み合わせた遡下降プランで榊形山から以東岳までの山頂を踏んだり踏まなかったりす

る山行が行われてきた。金目川に関しては専ら遡行対象となるのは左俣および中俣であり、当会でも両方合わせて3回トレースされているが、実際に原生流域とされているのは小枕山トンネル先の在所平橋よりもずっと下流からである。金目川左俣はザックが挟まりそうな狭いゴルジュの景観が素晴らしく、同じ朝日でも八久和川のようなスケール感はないがスパイスの効いた小気味良いスピード感の味わえる沢といえよう。金目川を遡行し終えて立つことになる祝瓶山の北には、同じく原生流域である荒川や野川の上流部を望むことができる。

トマの風
アーカイブス

朝日連峰 東大鳥川西ノ俣
沢～三面川化穴沢～以東沢

ISI

日時 2003年8月13日～16日

メンバー ISI (L)、TNB、STJ、TDA

8月13日 曇り時々晴れ

寒河江SAから月山道路を経て大鳥への県道に入り、泡滝ダムまで林道を走って8時半過ぎに到着、すでに登山者の車が10台くらい止まっている。相変わらず弱気になっているSTJさんを元気付けながら遡行準備をして、林道少し先のダム上、東大鳥川本流との合流点から入渓する。

しばらくは平川であり、日差しが照り付けて夏らしい雰囲気、いつもの時期なら鬱陶しいアブもそれほど多くなく快適だ。最初の淵は右のリッジ状の岩から踏跡を辿って小さく巻き、またしばらく河原歩きとなる。谷が少し狭まって泳ぎが出てくるが、流れも弱く、5mほどなので楽しく突破。落ち込みをいくつか越えていくと谷が右折し、最初の難関「釜滝」となる。

深い釜に奔流が勢い良く流れ込んでいて水線通しは不可、右岸のへつりからスラブを登